



未来のために。 今、間伐！

NPO 法人緑のダム北相模に
参加する東京学芸大学の学生

森林は、国土の保全、水源の涵養、地球温暖化の防止、木材の供給などの様々な機能により、
快適で安全な私たちの生活を支えています。

この様々な機能を発揮させるためには、森林が元気であることが必要です。

特に、戦後に植林された人工林は「間伐」という手入れを行わなければ、健全な森林が維持できません。
また、間伐によって生産される木材(間伐材)を積極的に利用することも、「間伐」を進めるためには重要です。

「間伐」を行って、もっと元気にしなければならない森林は多くあります。

“未来のために。今、間伐！”です。



「間伐」とは



我が国は国土(38百万ha)の約3分の2(25百万ha)を森林が占める世界有数の森林国です。

森林は、水源の涵養、国土の保全、地球温暖化の防止、木材などの林産物の供給といった働きを通じて、私達の快適で安全な暮らしを支えています。

森林面積の約4割(10百万ha)は、戦後まもなくや高度経済成長期に植えられた人工林です。人工林は、植える、育てる、使う、また植えるというサイクルを通じて元気な森林になり、様々な働きを発揮することができます。

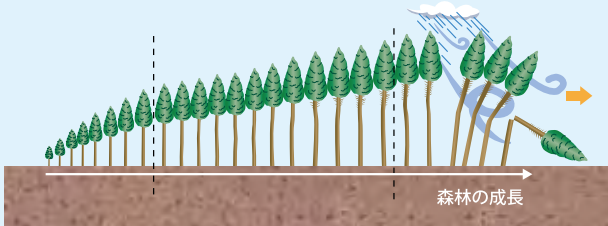
人工林の整備には「間伐」という作業が欠かせません。

間伐とは、森林の混み具合に応じて、一部の樹木を伐採し、残った木の成長を促す作業です。

適正に間伐を行えば、下草や低木が繁茂することによって、元気な森林となり、様々な働きをしてくれるほか、生産される木材の価値が増すことも期待できます。逆に、間伐をせずに放っておくと、木がやせ細り、風雪害に弱くなるほか、下層の植生が育たず土壌が流出しやすくなります。

間伐は、森林を元気にし、これらの機能を支える不可欠な作業と言えます。

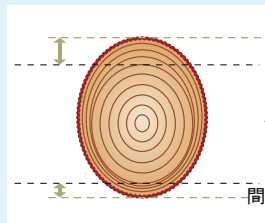
間伐しないと



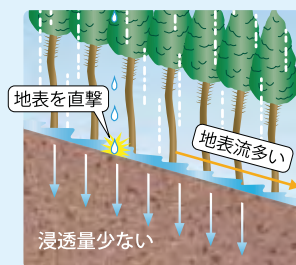
1本1本が十分に日光を受けることができず、木は細長くなり弱くなります。また、林内にも光が入らないため、下層には下草や低木が育ちにくくなります。



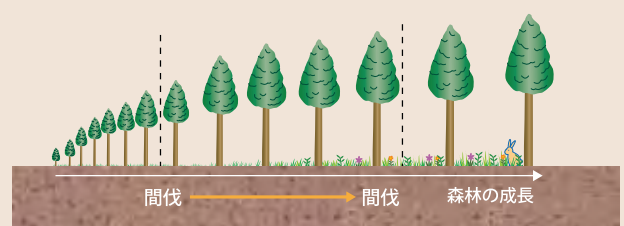
成長が抑制され、木材としての価値が下がります。



地表がむき出しのため、表土が流出しやすくなります。



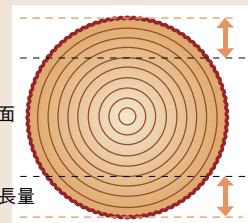
間伐すると



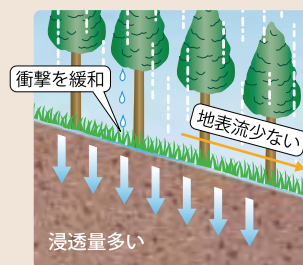
日光を充分に受けることができ、幹が太くしっかりとします。林内にも光が入るため、下層植生も豊かな森林に育ち、森林の持つ様々な働きを発揮することができます。



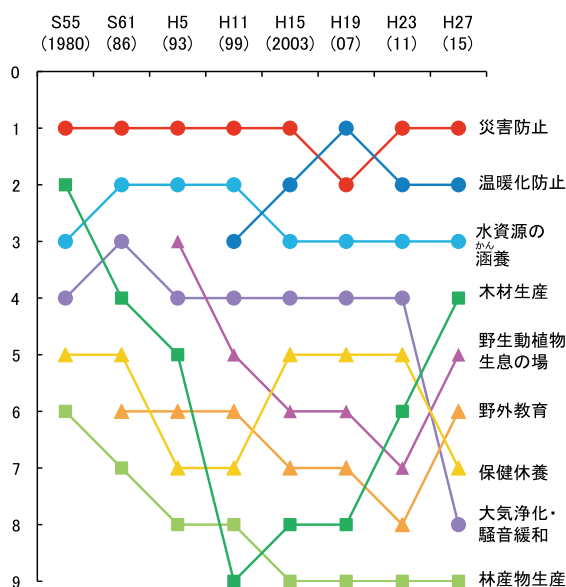
年輪幅の整った、利用価値の高い木材となります。



下草等が雨の衝撃を緩和し、表土の流出が抑えられます。雨水の浸透量や保水量も多くなり、水源涵養機能が高まります。



(提供：一般社団法人全国林業改良普及協会)



資料：総理府「森林・林業に関する世論調査」(昭和55年)、「みどりと木に関する世論調査」(昭和61年)、「森林とみどりに関する世論調査」(平成5年)、「森林と生活に関する世論調査」(平成11年)、内閣府「森林と生活に関する世論調査」(平成15年、平成19年、平成23年)、農林水産省「森林資源の循環利用に関する意識・意向調査」(平成27年)

注1：回答は、選択肢の中から3つまでを選ぶ複数回答。
注2：選択肢は、特になし、わからない、その他を除いて記載。

国民の森林に期待する働き

森林の持つ様々な働き

森林の土壌はスポンジのように雨水を吸収して、徐々に河川へ送り出すことにより洪水や渇水を緩和するとともに、水質を浄化します(水源涵養)。

また、樹木の根が土砂や岩石を固定し、また、地面が下草や低木、落葉などに覆われることにより、雨水等による土壌の侵食や流出を緩和します(国土の保全)。

さらに、森林の樹木は、大気中の二酸化炭素を吸収し、炭素を貯蔵することにより、地球温暖化防止にも貢献しています(地球温暖化の防止)。

加えて、森林は、木材やきのこ等の産出、景観や歴史的風致の構成、生物多様性の保全、快適な環境の形成、保

健・レクリエーションの場など、様々な働き(「森林の有する多面的機能」)をもっています。

森林の有する多面的機能を将来にわたって持続的に発揮していくためには、間伐などの手入れをして育てる、伐つて使う、そしてまた植える、といった、森林をいつも元気な状態にしておくことが重要なのです。

間伐を進めるために

木材の価格は、かつて輸入材との厳しい競争の中にあつて、長期的に下落してきました。一方、林業に従事する方々の人件費は上昇しています。また、我が国の森林は傾斜が急で、森林の所有規模も小さいため、木材を生産するために多く

の費用がかかってしまいます。

この結果、間伐などの手入れが行き届かず、健全でない森林もあります。

こうした中、間伐を進めるためには、作業用の道を整備し、林業用の機械を利用するなどにより、作業コストを縮減することが必要です。

同時に、間伐材の用途や利用量を拡大させていき、森林所有者や林業に従事する方々の収益を増大させていくことも大切です。

間伐を進めるための「間伐材」の利用

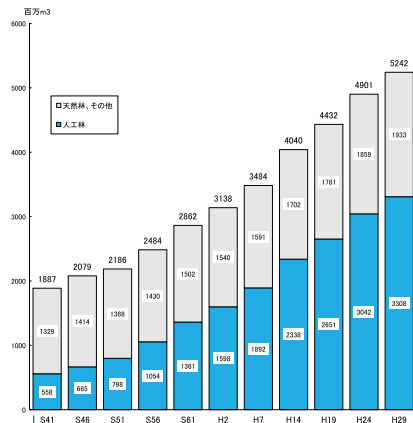
木を植えてから本格的に収穫できるまでには何十年もの間、継続的に手入れが必要です。このため、間伐した木材を販売し、その収益を林業の費用に充てられるようにすることが重要です。すなわち、森林の有する多面的機能を発揮させる間伐をきちんと実行するためには、間伐された木材(間伐材)を広く活用することが重要です。

未来のために。今、間伐！

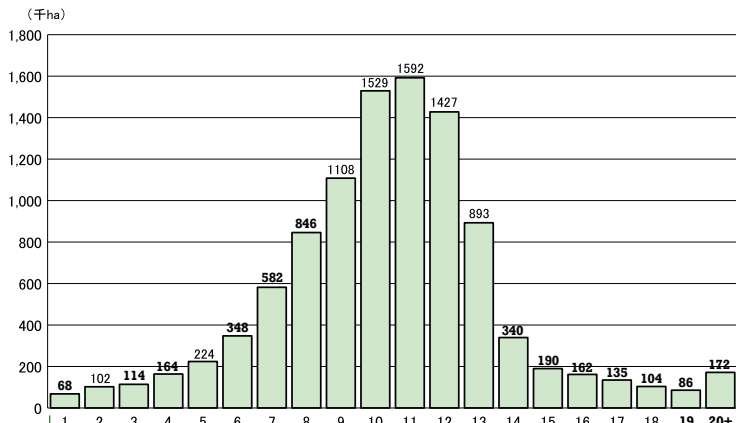
我が国の森林は、先人により営々と植えられてきた人工林を中心に、量的には、かつてないほど充実しています。この貴重な森林資源を十分に活用しながら、より豊かな森林を次世代に継

承していくことが私たちの大きな役割です。

未来のために、今、間伐！です。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



森林蓄積の状況



人工林の年齢構成



間伐・間伐材利用コンクール

今年で19回目となる「間伐・間伐材利用コンクール」には、全国各地から、力と心と熱のこもった多くの取組の応募があり、10月上旬に審査委員会を開催し、本年度の受賞者が選定されました。

今回から、「みどりの女神賞」を新設し、一般の方々への波及効果や情報発信力の高い取組、特に女性の視点から魅力的な取組について、みどりの女神※に選定いただきました（表彰式は1月開催予定です）。

【趣 旨】 間伐や間伐材利用に関する様々な実践例やアイデア製品を普及することを通じて間伐の推進や間伐材の利用拡大に貢献し、森と日本を元気にする。

【主 催】 間伐・間伐材利用推進ネットワーク（間伐ネット）

※みどりの女神
今回から審査員になって頂いた「2018 ミス日本みどりの女神」竹川智世さん



間伐・間伐材利用コンクール受賞者

製品づくり・利用部門

間伐材を活用した様々な製品づくりの取組、間伐材の利用に関する取組 等

【林野庁長官賞】

株式会社 エスウッド（岐阜県）

〈製品、取組〉岐阜県産材を活用した国産ストランドボード

〈概 要〉木質チップ系ボード
（国内初のストランドボードの準不燃材料、不燃材料の技術開発）



ストランドボードを使用した家具や什器類、内装の例

【間伐・間伐材利用推進ネットワーク会長賞】

株式会社 ラ・ルース（神奈川県）

〈製品、取組〉名刺・カード用 天然木シート

〈概 要〉名刺・カード用木製シート（ミシン目加工）
（個人がプリンタで簡単に印刷可能）

A4サイズのシート、印刷のイメージ



【間伐推進中央協議会会長賞】

細田木材工業株式会社（東京都）

〈製品、取組〉間伐材を利用した木のホワイトボード「きえずくん」

〈概 要〉木製ホワイトボード
（きれいな木目を活かした盤面）



ミーティングでの使用例、書き消しのイメージ

【みどりの女神賞】

静岡県森林組合連合会（静岡県）

〈製品、取組〉森のバリアード

〈概 要〉進入防止用バリアード（景観に配慮したデザイン）

〈みどりの女神のコメント〉これからラグビーワールドカップ、東京オリンピックが開催され、そうしたときこの製品が使われたら、世界各国がきっと日本の木材利用について興味を持つでしょうし、それが間伐材だと胸を張って世界に説明できたら素晴らしいことです。



【審査委員長奨励賞】

フォレストデザイン（長野県）

〈製品、取組〉丸太ローソク「ログファイヤー」

〈概 要〉丸太使用の簡易焚き火（照明、暖房、調理熱源）
（着火スピードの向上加工は特許取得）

着火した様子、調理熱源としての使用



【特別賞】

Boku Moku（和歌山県）

〈製品、取組〉「Re Kumano Project」～「あかね材(虫食い材)」を使用した家具作りやワークショップ

〈概要〉虫食い材(これまで利用が充分されなかった)の活用(虫食い跡をデザインとして使用。家具、ワークショップ材料等)



あかね材のテーブルでの使用、ワークショップの様子

間伐実践・環境教育部門

間伐を行う企業やボランティア等の取組、間伐や間伐材利用に関する環境教育 等

【林野庁長官賞】

NPO 法人 緑のダム北相模（神奈川県）

〈取組〉相模湖・若者の森づくり

〈概要〉都市部の中学生、高校生を対象にした森林整備活動、GPS による境界画定等



間伐材の搬出、境界の測量の様子

【間伐・間伐材利用推進ネットワーク会長賞】

NPO 法人 いわて森林再生研究会（岩手県）

〈取組〉間伐材の資源化プロジェクト

〈概要〉間伐材の資源化（薪、炭、製材、木工等）、安全技術普及、チェーンソー講習会等



間伐材の搬出、チェーンソー講習会

【間伐推進中央協議会会長賞】

株式会社 那賀ウッド（徳島県）

〈取組〉木製ボードで山と川と海、街と地域と人をつなぐ！サーフィン・サップボード体験で山川海の世界学習

〈概要〉木製サーフボードの体験、環境学習会（「木づかい」による森林学習・体験、地域愛の醸成）



木製ボードの体験イベント・環境学習会の様子

【みどりの女神賞】

埼玉県立 秩父農工科学高等学校 森林科学科（埼玉県）

〈取組〉学校演習林ヒノキ間伐材の有効利用とヒノキ間伐材ベンチの寄贈

〈概要〉高校生による間伐材生産、ベンチの製作と地域、被災地への寄贈

〈みどりの女神のコメント〉地元の材を、地元の高校生が加工し、地元の人たちが使い、地域全体が幸せになる。このサイクルに非常に感銘を受けました。



【審査委員長奨励賞】

公益財団法人ニッセイ緑の財団（東京都）

〈取組〉「ニッセイの森」の間伐材を活用した病院とのコラボ

〈概要〉ボランティアによる森林整備活動、病院と連携した間伐材の活用（内装、ベンチ、樹木名プレート等）



間伐材を利用した病院入口のウェルカムボード、ベンチ

【特別賞】

間伐こもれび会（愛知県）

〈取組〉農業機械の改造による自作ロープウインチの開発

〈概要〉農業機械の改造によるロープウインチの開発（少ない資金での林業機械化と作業の省力化）



溝切り機等を改造したロープウインチ

各賞の取組の概要については、こちらの専用サイト(<https://www.eco-online.org/forest-good/>)をご覧ください（間伐・間伐材利用推進ネットワーク事務局：NPO 法人エコロジーオンライン）

